館林市立第八小学校　　令和６年３月８日　第３号

コミュニティ・スクールだより

第３回学校運営協議会を開催しました

２月２２日（木）、学校運営協議会委員の授業参観後、第一相談室兼ＣＳ室において、第３回学校運営協議会を開催しました。今回は、第２回学校運営協議会で協議した内容の進捗状況の報告と、各団体や機関で協力可能なコミュニティ･スクール活動についての協議を行いました。また、学校より、５年生の児童が自発的に桜を植樹したいと申し出、実現させようと行動していることが報告され、コミュニティ・スクール活動としてどのような支援ができるか検討しました。

【協議会の様子】

☆前回の学校運営協議会で協議した内容の進捗状況

◇日本遺産「里沼」（多々良沼）についての学習
- 総合的な学習の時間の中で取り組む。
- 多々良沼について、２～６年生の学年ごとに違う内容で年間指導計画を改善して、学習を進めていく。

◇校庭花壇の整備
- ３月の委員会活動で保護者の協力を得て実施していく。
- 来年度は、地域のみなさんにも協力いただけるよう検討していきたい。

◇安全ボランティアの人材育成
- 児童の減少に伴い保護者も減少していることから、保護者が行っている朝の旗振り当番が早い周期で回ってくるため、保護者の負担が大きくなっている。
- 安全ボランティアも高齢化しているが、なかなか新しいメンバーが見つからない。
- 地域でもボランティアの確保に努力いただいているが、引き続き課題として検討していく。

☆各団体・機関で協力可能なコミュニティ・スクール活動についての主な意見

◇学校花壇の整備に関しては、多々良公民館の利用団体である「多々良地域ボランティアの会」にお手伝いいただけるのではないか。

◇３年生が公民館で活動する団体の指導を受ける体験活動については、公民館として協力していきたい。

◇小中連携事業として実施している「あいさつ運動」や多々良中学校合唱祭の練習を第八小学校児童に披露する事業は、今後も継続したい。

◇多々良中学校では、総合的な学習の時間において、群馬県自然環境調査研究会の青木雅夫氏を講師に迎えて、多々良沼の植物、自然環境保護について指導いただいている。里沼学習については、小学校と情報共有していきたい。

◇おやじクラブが行っているデイキャンプは、今後は全児童に声をかけて規模を大きくしてやりたい。

◇青少推は市の事業への協力や防犯パトロールを中心に行っているが、地域と一体となれるような事業を今年のテーマとして取り組んでいきたい。

◇第八小学校の来年度の構想について

・学校としては、落ち着きのない児童を支援してくださる方を募集したい。

・募集の方法は、地域に回覧文書を回して周知する。

・難しい対応を望むのではなく、児童を見守っていただく学習支援サポーターとしてお願いできないかと考えている。

・教師が落ち着いて授業ができる環境になり、その結果、学力向上につながることが期待できる。

☆児童からの提案事業「桜さく未来をつくろう」への支援

◇５年生の児童が校庭に桜の木を植樹する事業を発案し、実現するために自ら募金活動を行った。

◇児童の夢を叶えるために、この事業にコミュニティ・スクール活動としてどう支援していくか検討した結果、植樹の時期、苗木の運搬、植樹の方法などについて専門業者の意見を聞きながら、学校運営協議会委員の方の協力をいただき、実現させることになった。

☆2、3学期のコミュニティ・スクール活動より☆

〇ムジナモについて学習

１１月、「館林ムジナモを守る会」のみなさんを講師に迎え、３年生がムジナモについて学習しました。かつては多々良沼に自生し、国指定天然記念物であったムジナモを初めて見る児童は興味津々でした。

〇中学生と共にあいさつ運動

１月２９日（月）から２月９日（金）のあいさつ運動期間において、各委員会であいさつ運動を行いました。多々良中学校の生徒会本部役員も参加し、小中連携事業となりました。